

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年11月11日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年11月11日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【陸側遮水壁設備の冷却塔(2B-8)散布水ポンプの回転体羽根車損傷について】</p> <p>協力企業作業員が、陸側遮水壁設備の冷却塔(2B-8)散布水ポンプ点検において、ポンプを冷却塔より取外し分解したところ、ポンプの回転体の羽根車に損傷を確認。損傷部分が擦れた状態であることから、異物等によるものと推定。今後、当該ポンプの回転体の羽根車を交換予定。</p>	GⅢ	11月5日
2	<p>【4号機原子炉ウエル浄化装置の停止について】</p> <p>協力企業作業員が、4号機原子炉ウエル浄化装置の運転状態を監視していたところ、原子炉ウエル浄化装置操作盤の制御電源ランプが消灯し、原子炉ウエル浄化装置が停止したことを確認。電気系の不具合が想定されるため、浄化装置用分電盤への電源供給を停止した。現場調査の結果、浄化装置用分電盤内のしゃ断器が漏電によりしゃ断されていること、および、原子炉ウエル浄化装置のうち沈降物回収装置水中ポンプの絶縁不良を確認。4号機には燃料が無く当該設備は原子炉ウエルのみを浄化するために設置された設備であり、機能喪失に伴う環境等への影響はない。今後、当該ポンプを取替予定。</p>	GⅢ	11月9日
3	<p>【陸側遮水壁設備の膨張タンク2A-1~3濁水警報発生について】</p> <p>当社社員が、凍土遮水壁設備の冷却塔(2A-3)散布水ポンプ点検準備のため、冷却塔を2A-3から2A-2へ切り替えを実施したところ、「凍土遮水壁 膨張タンク2A-1~3濁水 ポンプ停止」警報が発生し、運転していた冷却水循環ポンプ2A-1~3、および、冷凍機2A-1・2A-3が自動停止したことを確認。現場にて漏えいが無いことを確認。冷却塔の切り替えを再現したが、警報は発生しなかった。今後、膨張タンク(全8台)のフロート交換、および、電極清掃を計画。</p>	GⅢ	11月9日